

# 青年江原会報

発行・青年江原会  
〒862-0972 熊本市新大江1-8  
熊本高等学校江原会館内  
096-362-5866  
制作・青年江原会編集委員会  
096-323-6611

## 祝 100周年!

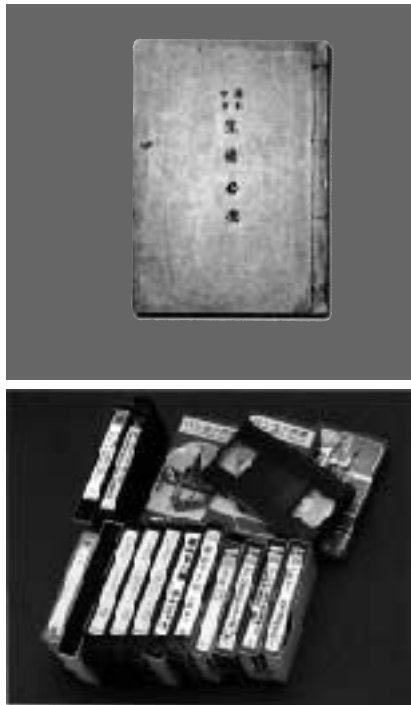
### 青年江原会も頑張りました

昨年二〇〇〇年は、母校熊中・熊高一〇〇周年の記念すべき年でした。様々な行事が、世代を超えて実施されました。

私達青年江原会も、色々な立場からこの記念すべき年を盛り上げていこうと協力してきました。その取り組みをご紹介します。



青年江原会で企画した百周年記念グッズの数々



#### 物産委員会

田尻 亮司 (54歳)

今回大成功のうち終了した一〇〇周年の各行事は、二〇〇周年実行委員会を中心に「生徒必携」の復刻版「それに王君子」を私たちに残された野田寛先生の生肉声や藤崎宮崎大祭の祭囃子を収録したCDの三種類を青年江原会において製作販売いたしました。

また、せっかくなから青年江原会として何か独自の記念品を製作しようと、無い知恵・時間を出して現代人の必須アイテム



#### 十一月三日が過ぎて

物産委員会委員長  
片山和隆 (高21回・昭和44年卒)

「記念品は作って売つとよかったい。」  
「軽い気持ちで引き受けました。」

「まだ一年あるけん何か仕掛けよう。」  
「何のあつどか?」

「九十九周年同窓会の校歌音唱は録音してCDば作る。」  
「昨年のあなたの歌声がCDになりませんか?」

「焼酎は仕込みに行こう。」  
「バスツアー...二月二六日、私土曜日仕事の為参加できず。聞けばシナバに秘蔵の焼酎が出たとか。打

ました。  
今後私も自身も含め、青年江原会という素晴らしいことにチャレンジし続けるように願っています。

青年江原会の役をお引き受けして、丸三年が過ぎます。高校を卒業して、今は社会人ですが、この歳になっても、叱ってくれる先輩・宥めてくれる同級生・叱られてくれる後輩がいることがとても素晴らしい事だと感じながら、三年間を務めて来ました。間もなく、卒業します。三年間、我儕言いました。けれど、それを殆ど、聞いて飲み込んで下さいました皆様、心より感謝いたします。

上げは私の都合に合せて絶対人吉ですぞ。峰の露酒造様、大変御世話になりました。そして、又御世話になります。必ず。絶対。

「イメージは正門をメインにしよう。」  
「何でんかんでん正門をこじつけてみました。」

「オイ、十一月二日のゴルフコンペに参加としてCDば人数分と商品としてべ

「オイ、十一月二日のゴルフコンペに参加としてCDば人数分と商品としてべ

青年江原会の活動は、ボランティアです。その精神が無ければ成り立ちません。考えて下さい、皆さんの手元にこの会報

ひとつひとつ詰めているのです。次回会つた時に「ありがと。お疲れ様。」と声を掛けてあげて下さい。彼らは、間違

#### 「汗」

青年江原会会長  
高木 宏一郎 (53歳)



が届いて読む時に、袋話してくれた同級生がいることを、決して業者に委託してあるわけではありませぬ。数人が集まり、

いなく汗をかいています。各学年で担当していただく、さまざまな活動行事があります。それには、そ

喜の涙を流します。その間、かいた汗が多ければ多いほど、その涙も多いためではないでしょうか? 例え、間違つた発

想・行動をしようとしても、この汗をかいた人には、皆寛大です。それが、この青年江原会出身者の偉いところ。何故なら、そういう先輩方も同じように汗をかいて来たから、私は勝手に解釈しています。新世紀を迎え、新たな時代になりました。しかし、青年江原会はこの「汗をかいた精神」は不滅であって欲しいと望みます。次期会長の田中君には、引き継ぎました。これにてお開きとさせていただきます。

# 友だちはいつもここにいる。

## 大同窓会の幕が降りて



43代会長 増田 和正  
(高20回・昭和43年卒)

十一月三日、前日の熊本を襲った豪雨がうそのような秋晴れの晴天の朝を迎え、大同窓会本番の一日が成功するとの確信を、私だけではなく皆様も持たれたのではないのでしょうか。前日のグランメッセの会場では、それぞれの分担に分かれ着々と準備作業が始まり、時には楽しそうに会話すら聞こえ、また先輩後輩の応援も予想をはるかに上回る活躍で、みるみるうちに会場が一〇〇周年行事にふさわしい雰囲気になったこと。また、一番心配していた参加人数が、一週間前の集計でほぼ二〇〇〇人の登録人数が読めたこと。この二点が、朝の秋晴れと共に成功の確



信の根拠がもしもありません。午後の受付開始時刻一時間前からぞくぞくと先輩後輩の来場があり、式典会場の座席は埋めつ

くし、中西校長先生の言葉をかりれば、甲子園のスタンドがみるみるうちに満席となる光景となり、厳かな第一部の式典の開始。第二部の祝宴も熊本で一番の広さを埋め、二〇世紀最初で最後の大同窓会となりました。このように多くの先輩後輩がつとい一〇〇周年を祝う大同窓会を成功することができたのも、この日にいたるまでに、多くの皆様が貴重な時間と優秀な頭脳を提供いただいた賜物と致します。特に今回の企画は、江原会の同窓会でなければ経験できない内容としました。ひとつは現役学生によるオーケストラの演奏、江原太鼓、他方は青年江原会主催の例大祭、応援団。この企画を実行するにあたり、皆様と何回となく、あまたこつたと酒のさかなにいろいろと議論したこと。

### イートン校聖歌隊コンサート

青年江原会副会長 山川 摩利子 (53会)

二人の少女がオルウツド氏とピアノニストの少年に花束を渡し終えたとき、三階席でそれを見ていた私達は、ひとつ大きな息を吐きました。二〇〇〇年一〇月二二日、イートン校聖歌隊コンサートが無事に終わりました。彼らの歌声はすばらしく、お客様方も満足気なお顔でお帰りになりました。

八月の終わりにこのコンサートの裏方をお引き受けしてからの二ヶ月足らず、学年幹事会でスタッフを募り、何もないとこから出発して、ばたばたと準備を進めるうちに当日が来てしまいました。午前九時集合で、ステージと楽屋、ロビーの準備です。スタッフが手分けし、持

突然電話がかかり、「先輩そらーできまっせんばい。」と後輩からお叱りを受けた。昨日のように思い起こされます。また、参加人数も皆様の呼びかけで予想を上回ることができました。この間にお互いの顔と心を知ることができました。お互いに人生の友の和がこの同窓会にかかわって大きくなったのではないのでしょうか。大同窓会の幕は降りましたが、また江原会活動をお互い楽しみましょ。感謝



始まってみれば、55会の方達のステージでの器材運びぶりはプロではないかと思わせるくらいでした。開場前にロビーにお客様があふれ、早くいれるという声があがったにも拘わらず、ドアの前に立

来日の翌日で具合の悪くなる子がいるのでは、声の調子が出ない子がいるのではと心配しましたが、何のことはない、皆元気で食欲旺盛、サッカーをする子までいました。体は大きくても、髪や目の色

ち場を固めました。当日券の販売、プログラムの配布、イートングッズの販売、さらには入場整理とそれぞれがてんやわんやでした。コンサートを開くということがいかに大変か！なかなか経験できることではないので頑張つて、と願っているのが精一杯でした。

はじめまして、55会の方達のステージでの器材運びぶりはプロではないかと思わせるくらいでした。開場前にロビーにお客様があふれ、早くいれるという声があがったにも拘わらず、ドアの前に立

結局、私は見ているだけだったので、なかなかと思いません。終わってみれば、楽しかったね、というところですが、私にすれば準備の二ヶ月間は中距離を短距離のペースで走るようなものでした。そのため、53会の方には半ば強制的に参加していただき、とりわけ迫田晶子さんにはお世話をおかけしました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、当日いろいろ

「江原太鼓」代表世話人 林 田 淳一

「江原太鼓」の現役と卒業生との総勢二〇人の共演は如何でしたでしょうか？

準備から短い時間ではありましたが、最高の演奏だったと自画自賛しています。技量の未熟さはあつたかと思いますが、古いも若きもあのセッションの高さは最高でした。ありがとうございました。終わりました。

終わった瞬間は感謝と感激の洪水でした。祭りが終わった翌週からの週三回の練習は大変だったと思いますが、やった甲斐がありましたし、みんな好い顔してました。

これこそ、だから江原会は面白いの最たるものだったと思います。

この江原太鼓を語る上では何人も先輩方の顔が浮かびます。まず、あの赤太鼓を購入するにあたって、お世話頂いた先輩、寄附頂いた先輩、当初のご指導を頂いた増永先輩、現在の作曲指導者の福田先輩、前の代表世話人の石原先輩、他にも色々な所で多くの先輩方にお世話になつて現在の江原太鼓があります。

何事もそうですが、この諸先輩方のご苦労、ご心労があつてこそ現在の江原太鼓です。

良いものを残して頂いたと感謝しております。まして、今は在校生の同好会も出来て、その輪が広がってきました。お世話する方としては、大変喜ばしいことです。

それから忘れてならないのは、青年江原会からの継続的な物心両面での支援だと思えます。本年度も新しい太鼓を購入頂きましたし、感謝感謝です。

今後、継続は力だ、と肝に銘じ、楽しい江原会らしい和太鼓を続けていきたいと思えます。卒業生の皆さんの前で演奏出来ることも多いと思えますし、在校生と卒業生の数少ない直接の交流の場です。大事にしたいと思えます。

身勝手な代表世話人ですが、一歩一歩前進してまいりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。



校長 中西 康夫

### 「あいさつ」

青年江原会の皆様には、新世紀を迎え、益々ご清祥のことと拝察致します。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。



江原会会長 永野 光哉

### 青年江原会の皆様へ

母校・熊本高等学校は、昨年創立一〇〇周年を迎えました。皆さんとともに祝ったのは昨日のことのように思えます。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

「あいさつ」は、文字では表現できない温かみ、真摯な精神文化が存在していることを痛感しています。

### 熊中・熊高創立一〇〇周年 スポーツ交流委員会を終えて

委員 井上 清明 (高21回・昭和44年卒)

「ワーっ」という大歓声の中、九回裏逆転サヨナラのランナーがホームベースを駆け抜け、八対七で熊高敗戦に終わった。

「ワーっ」という大歓声の中、九回裏逆転サヨナラのランナーがホームベースを駆け抜け、八対七で熊高敗戦に終わった。

「ワーっ」という大歓声の中、九回裏逆転サヨナラのランナーがホームベースを駆け抜け、八対七で熊高敗戦に終わった。

「ワーっ」という大歓声の中、九回裏逆転サヨナラのランナーがホームベースを駆け抜け、八対七で熊高敗戦に終わった。

「ワーっ」という大歓声の中、九回裏逆転サヨナラのランナーがホームベースを駆け抜け、八対七で熊高敗戦に終わった。

「ワーっ」という大歓声の中、九回裏逆転サヨナラのランナーがホームベースを駆け抜け、八対七で熊高敗戦に終わった。

### レクリエーション大会を終えて

澤田 誠 (一58会)

今年がレクリエーション大会の幹事年だと先輩から仰せつかったのは、何月頃だったか。

今年がレクリエーション大会の幹事年だと先輩から仰せつかったのは、何月頃だったか。

今年がレクリエーション大会の幹事年だと先輩から仰せつかったのは、何月頃だったか。

今年がレクリエーション大会の幹事年だと先輩から仰せつかったのは、何月頃だったか。

今年がレクリエーション大会の幹事年だと先輩から仰せつかったのは、何月頃だったか。

今年がレクリエーション大会の幹事年だと先輩から仰せつかったのは、何月頃だったか。

今年がレクリエーション大会の幹事年だと先輩から仰せつかったのは、何月頃だったか。



### 平成十二年度 藤崎宮例大祭の御礼

実行委員長 大多新 勝徳 (56会)

昨年の母校創立一〇〇周年、又、二〇世紀最後となる節目の例大祭に際しましては、先輩各位並びに、後輩諸君の御参加、御協力を頂き本当にありがとうございました。56会を代表致しまして心より御礼申し上げます。

私は酒が飲めないのが、祭りの成功を祈る唯一のチャンスかもれません。在学中の体育祭、文化祭を思い出して一人でも多くの仲間と馬鹿になつて下さい。必ず何かが見つかります。最後に、皆様から頂いた多大なる御恩

窓を締め切つた体育館のムツとする熱気、大壇の重さに二腕はパンパン、膝はガクガク。その平成一〇年度前夜祭、練習の合間の服。「前夜祭にも二年

は馬廻り「隼」や楽隊「風雷神」と肩を並べられるような組織にしたいとの意向のもと、平成十一年度例大祭に向け、池田氏の提案でその名を「匠」とすること

のは、私だけ？。思いっきり自画自賛したところで、実は十二年度の祭りのあと、宮村先輩より「多忙につき隊長を

規制や様々な困難を江原会らしい創意と工夫で、逆にいい形にして祭りをつなげ

# 飛躍!! (びやく)!! 百周年

## 風雷神楽隊

藤崎宮秋季例大祭への飾り馬奉納団体としての青年江原会内に、パーマネットな楽隊組織として、風雷神が発足して今年から今年で十年目になります。

今年も例年のように、青年江原会として飾り馬を藤崎宮に奉納いたします。その実行学年として、57会が馬場君を中心として

今年度の隊長と兼任して、馬廻り「隼」の指揮をとらせて頂くことになりました。

お世話になります。高34回、57会の馬場太果志です。私がこの藤崎宮秋季例大祭に参加させて頂くようになり

いまでも私なりの視点で祭りを観察して参つたつもりですが、納得のいかない



新隊長「風雷神」田河吉治

代目田河吉治、連綿と組織運営に大変「尽力され

さして昨年の一〇〇周年にかかわる諸々の事業・行事等により、個人々の江原会のアイデンティティ

織ではなく、本隊や楽隊との連携も悪く、何もわからない実行

ていなかつたのか」と言われました。その長い間、様々な想い(自分たちでやり

この記念すべき年に藤崎宮秋季例大祭のお世話をさせて頂



馬廻り「隼」新隊長 荒木 邦生

### 隼の隊長に就任して

## 匠 楽隊

平成一〇年度前夜の練習の合間の服。「前夜祭にも二年

より貢献度の高い集団として、皆さんに認知していただける

新世紀へはばたく 青年江原会の例大祭

熊本高校、そして江原会が、大きくはばたくきっかけと成



### 纏に集う

新隊長 演 清輝

抱えるに至る。なお本祭りにおいては従来どおり、「匠」以外

で、新たな隊長の役を、52会池田、田原、濱の三副長の中から

規制や様々な困難を江原会らしい創意と工夫で、逆にいい形

# 平成十二年度 青年江原会忘年会について

下川 泰(59会)

昨年十一月四日、国際交流会館で平成十二年度青年江原会忘年会を行いました。

今回の幹事は、我々59会に回ってききました。まず前年、前々年の先輩方に話を聞くことから始め、過去に忘年会と見劣りするの無い、それでいて派手になりすぎない忘年会を企画したいと考えました。

お決まりのビンゴそれに引き続き腕相撲大会をしたところ先輩方の盛り上がりは上々でした。会場から四人出てもらいトーナメントで優勝者を決め、優勝者には景品を用意してました。腕相撲をみてうずうずしたのでしようか、その他の方もステージに上がり腕比べを始められました。腕比べをしている姿は大先輩方もとても若々しく見え見ている方も楽しんでもらえたと思います。この腕相撲は正解でした。

忘年会が終了して先輩方から「おつかれさん」の言葉をもらったときは、ほっとしました。そしてどうにか失敗はなかったことを実感し、安心しました。

忘年会のことを振り返ると、私たち59会のメンバーだけでは忘年会を成立させることはできなかつたことを感じます。企画の段階から忘年会の進行、会場の席の配置まで、いろいろなところで先輩方の助けをかりて成立した忘年会でした。

先輩方には大変お世話になりました。でも、このおかげでたくさん先輩方とお知り合いになれたことはうれしいことでした。実際に幹事を経験して同級生が集まって一つのことに取り組みという楽しさを、少し味わうことができたと思います。二

次会の開放感と少しの満足感はいいものでした。できれば、これからも学年ごとに幹事をを受け持つていくことを継続して、後輩たちにもこの楽しさを体験してほしいと思います。最後に、出席していただいた先輩、後輩の皆さんに感謝したいと思います。ありがとうございました。来年も楽しい忘年会を期待しております。

## 熊本高校文化祭 出展について

長生 修(55会)

江原会の事務局長でもある野口先生から、「文化祭で教室は取ってあるけん、青年江原会でなんかしてくれ。」と聞いたときは、「いままさら文化祭なんて」と思ったものでした。

ところが、学年幹事会で59会が中心と決まれば、現役の時に一生涯懸命やらなかつた文化祭なのに、何故か真剣に取り組

んでしまいました。不思議なものです。内容は、物産委員会の協力をいただき一〇〇周年物産委員会で製作した記念グッズの展示、パネルによる青年江原会の活動の紹介、それと藤崎宮秋季例大祭のビデオ・一〇〇周年記念ビデオの上映を行いました。展示教室を訪れていただいた生徒や保護者の数

# ディスカバー士君子2001

### ～21世紀に求められる士君子像～

とき：平成13年3月19日(月)  
午後7時～午後9時  
ところ：熊本市国際交流会館七階ホール

青年江原会副会長

田中隆臣 (54会)

「士君子」という言葉、それは初代校長の野田寛先生が熊高(中)生のあるべき姿として用いられたもので、我々の多くが熊本高校に入学して初めて聞いた言葉であり、今なお我々の心の中に強く刻み込まれているものではないでしょうか。

その士君子という言葉が「広辞苑」で調べてみると、「德行高く学問に通達した人」という注釈がされています。あーなるほど！と思われる方もいるでしょうし、私もそうですが、野田先生が造られた言葉で、広辞苑に載っているとは思ってなかつた方も多いのではないのでしょうか。

ただ野田先生が我々に伝えたかった「士君子」は、字面で簡単に理解出来るものでなく、卒業し社会人となり人間の成長とともに徐々に解つていくものであり、我々の永遠のテーマとして追い求めていくものではないかと思えます。

そのようなことから今から九年前に青年江原会が始まったのが「ディスカバー士君子事業」なのです。その後、皆で学校の歴史を紐解いたり、野田先生について勉

強しあったり、野田先生の理想とした学校であるイトトン校について調べたりと色々取り組んできました。そのよつな中、平成五年に青年江原会の有志でイトトン校を無謀にも訪問し、結果として歓迎を受け、それが今日の本校とイトトン校との友好的交流につながっているのです。

と思いますので、現役生も含め新卒業生、OBの方々の多数の参加お待ちしております。また、この会報を三月十九日以降に読

まれている方にお知らせします。「シンポジウム」は活発な議論のもと大盛況に催されました。

## 藤崎宮研修旅行に参加して

米村 勲 (高19回・昭和42年卒)

平成十二年十一月二十八日(火)～二十九日(水)の二日間、藤崎宮主催の「宇佐神宮参拝・研修旅行」に参加した。広大な敷地は鬱蒼とした森に囲まれその規模の大きさに全国八幡宮の総本山であるのもうなずけるし、その管理運営費用が莫大にかかるだろうその台所がどうなっているのか興味湧くところだ。司馬遼太郎氏の著書「この国のかたち五巻」の神道の章に宇佐神宮の記載がある。読まれた方もいらつしやるだろう。

さて、研修の方は祭参加団体にお声かけされた割には、数組の参加でした。高校OB連合会では江原会とマリスト会の二校でした。しかもこの二団体とも翌朝に帰郷してしまい二日目の観光には不参加であった。別府の

宿での研修と懇親では、お宮、審査委員の方々と膝付き合せてお祭りの在り方や、審査委員会の在り方について話しをしました。ただ、この場の話してお宮、審査委員会の有りようが変わるはずもなく、この様な場当たりの企画で祭が良くなるはずもないと思います。参加者や各団体の運営執行者が気持ちよく行動できる環境作りが大切だと思います。

が、そんな努力も一向にされていなくて思っています。参加が大切で、そういう意味では、そんな機会を与えていただきたい今回の研修旅行は貴重な体験ではあります。が、一泊の研修は必要だと思つた今回の旅行でした。

お宮、審査委員会を批判するだけでなく、あちらの呼びかけに応じて膝付き合せて話し合うことが大切で、そういう意味では、そんな機会を与えていただきたい今回の研修旅行は貴重な体験ではあります。が、一泊の研修は必要だと思つた今回の旅行でした。

## 河合サテライト講座

河合サテライトネットワーク校 — 知究館 —

究極の映像授業で実力アップ!

河合サテライト講座では、コンピューター・グラフィックスをはじめ各種実験映像、ロケ映像などの映像素材を駆使して、「黒板とチョークを超えた」、よりわかりやすく本質的な理解を深める「進化した授業」を提供します。

東大・九大・熊大



熊本ゼミナール・高校部  
〒862-0971  
熊本市大江6丁目25-17  
TEL.096-371-2001

志望校が母校になる。

# 代々木ゼミナール

高校・現役スクール 大学受験科 **新学期受付中!**

★熊本校では随時、入学・入寮に関する説明会を個別に実施しております。説明会に参加された方には、入学金を全額免除する「**入学金免除カード**」を差し上げます。

≡スカラシップ生試験≡  
3月5・8・12・15・19・22・26・29日  
※上記試験日以降(4月)も随時実施いたします。

大学受験科・高校・現役スクールのスカラシップ生選考試験において成績優秀者は、入学時に年間学費の全額または一部を免除いたします。

高校・現役スクール 3月3・10・17・21・24・28・31日

医歯薬獣医・難関国公立に強い代ゼミをここに証明!!

**2000年熊大医学部 10名**  
**1999年熊大医学部 12名**  
**歯科薬獣医系学部(国公立) 93名合格**

春期講習会 **受付中** = 開講 3/21 =

代ゼミホームページ <http://www.yozemi.ac.jp/>  
(代々木ゼミナール/JEC日本入試センター)

**熊本校** 〒860-0047 熊本市春日1-12-10  
☎ 096-351-3111(大代)

### 東京江原会 2000

実行委員会代表 宮下 和也 (56回)

熊中熊高の一〇〇周年。ふるさとを離れた多くの仲間がいた東京でも、この記念すべき年をお祝いしよう、二〇〇〇年六月十日、東京・品川駅近くの新高輪プリンスホテルで、東京江原会の総会・パーティーが行われました。題して「東京江原会二〇〇〇熊中・熊高一〇〇周年記念祭」。企画・運営に携わった高33回(昭和五十六年卒)の一人として、このイベントのもようをご報告します。

新高輪プリンスの大宴会場「飛天」。午後三時、照明を落とした会場に、ゆったりとした調子で、「西に金峰、東阿蘇...」のメロディーが流れました。母校の

### 福岡青年江原会 活・動・報・告



藤井 淑人 (53歳)

福岡青年江原会の近況をご報告致します。主な活動は、毎年六月第一土曜日に開催する総会と、十二月の第一土曜日に開催する忘年会です。この二つのイベントは、それぞれ毎年同じ会場(親不孝通りの遊膳亭)で、夕方六時より行われてい

百年の歴史を振り返るオープニングビデオの上映です。大スクリーンに映し出された懐かしい校舎、キャンパスの緑、そして友人たちの顔、顔、多くの参加者で埋め尽くされた会場は一瞬、静まり返り、次の瞬間、ため息とともに大きな拍手が沸き起こりました。

はじめ、藤崎宮秋季例大祭に参加しておられる「風雷神」のみなさん、さらに、江原会の役員の方々、青年江原会の高木宏一郎会長など、熊本からも多くの先輩、後輩の方々に駆け付けていただきました。 「風雷神」の演舞の前には、青年江原会と例大祭の歴史、踊り方などを紹介。高34回有志による勢子隊も登場し、多数の方が飛び入りで、「ドリーカイ、ドリーカイ」のリズムに合わせて体を動かしました。

恒例の応援歌、校歌斉唱では、熊本高校応援団が実際に使用している団旗が、中西校長はじめ関係者のご尽力で、初めて東京江原会の会場へ。紫紺の団旗の下、一世にわたって歌い継がれた校歌が、広大な「飛天」会場いつぱいに響き渡った感動は忘れられません。

間が許すメンバーが多数参加して楽しい時間がアツと云う間に過ぎて行きます。ここに数年は幹事を毎年、卒業年度で送りしてあり、今年六月までは53回が担当です。六月の総会時に54回にバトンタッチという形になります。

昨年は少人数ながらOBの上野先輩団長のもと藤崎宮秋季例大祭にも参加致しました。以前は活発に出向いていた時もあつたとか、また復活して、参加を継続出来ればと思います。六月の総会と忘年会の日はまだ、昼間希望者有志により、恒例のシユガーカープゴルフコンペが開催されます。こちらにも参加者が各自それぞれ賞品を持ち寄るスタイルの、とてもアツトホームなゴルフ会です。開催コースは毎回異なり楽しみにしているメンバーも増えていきます。

熊本からも参加してもらっています。六月と十二月の他に春・秋でシユガーカープは希望者有志により開催しています。

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。

ますので、まだ参加したことがない皆様や県外の方も是非気軽に立ち寄ってみてください。年々参加者もふえており、青年江原会OBの先輩から学生まで、世代を越えて楽しく語り合う場になっていきます。

熊本からも毎回多数参加していただき、熊本と福岡の情報交流の場にもなっています。

前回は十二月の忘年会では、一〇〇周年行事の話や各自の近況報告などで盛り上がりました。二次会もすぐ隣の会場で開催しているの、時

思えば、ここに至るまでには苦勞の連続でした。こうしたイベントには素人同然のわれわれが、それぞれ本業を抱えながら千人規模の大集会をやるというのですから。

実行委員会が動き始めたのは九九年秋以降。何度も開いた話し合いは深夜まで及び、開催前の十日間はスタッフ全員が毎夜集合。出席者の確認や当日の打ち合わせなど、ほとんど不眠不休の作業に熱中しました。

しかし、一応の成功を収めることができたのは、何よりも

同窓会員のみなさんの絶大なるご協力のおかげです。実行委員一同、心からお礼を申し上げます。特に高木会長、「風雷神」の林田楽隊長をはじめ、青年江原会のみなさんには、さまざまなアドバイスやご協力をいただき、会を成功に導いてくださいました。本当にありがとうございました。

じ、藤崎宮秋季例大祭に参加しておられる「風雷神」のみなさん、さらに、江原会の役員の方々、青年江原会の高木宏一郎会長など、熊本からも多くの先輩、後輩の方々に駆け付けていただきました。

「風雷神」の演舞の前には、青年江原会と例大祭の歴史、踊り方などを紹介。高34回有志による勢子隊も登場し、多数の方が飛び入りで、「ドリーカイ、ドリーカイ」のリズムに合わせて体を動かしました。

恒例の応援歌、校歌斉唱では、熊本高校応援団が実際に使用している団旗が、中西校長はじめ関係者のご尽力で、初めて東京江原会の会場へ。紫紺の団旗の下、一世にわたって歌い継がれた校歌が、広大な「飛天」会場いつぱいに響き渡った感動は忘れられません。

間が許すメンバーが多数参加して楽しい時間がアツと云う間に過ぎて行きます。ここに数年は幹事を毎年、卒業年度で送りしてあり、今年六月までは53回が担当です。六月の総会時に54回にバトンタッチという形になります。

昨年は少人数ながらOBの上野先輩団長のもと藤崎宮秋季例大祭にも参加致しました。以前は活発に出向いていた時もあつたとか、また復活して、参加を継続出来ればと思います。六月の総会と忘

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。

熊本からも参加してもらっています。六月と十二月の他に春・秋でシユガーカープは希望者有志により開催しています。

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。

詳しくは福岡の幹事学年まで。 昨年は福岡青年江原会OBの皆様により筑前託麻会が発足されました。福岡江原会本体・筑前託麻会・福岡青年江原会と、福岡では世代を越えた江原会の仲間が親睦を図り交流を深める場が確実に充実してきているように感じられる最近です。先輩の皆様がしっかりと後輩の皆さんへ引き継いで行こうと思えます。



### 青年江原会 総会案内

平成13年3月24日 18:30~  
会場:紅蘭亭下通本店 TEL.352-7177  
会費:4,000円

青年江原会は、若手江原会会員(概ね41歳以下)で組織された親睦団体です。活動は、藤崎宮秋季例大祭に飾馬を奉納するなど、会報に掲載されたことをおこなっております。会員の皆様、これらの行事に積極的に参加いただければと存じます。お問い合わせ等、各学年の学年幹事もしくは事務局までお気軽にどうぞ。

### 平成12年度青年江原会事業内容

平成12年4月21日 平成12年度通常総会  
6月23日 ビアパーティ  
6月25日 レクリエーション大会  
8月17日 藤崎宮例大祭 結団式  
8月20日 藤崎宮例大祭 参加受付  
8月27日 藤崎宮例大祭 飾り開き  
9月3日 藤崎宮例大祭 全体練習・参加証交付  
9月12日 高校OB連合会前夜祭  
9月13日 藤崎宮例大祭 飾り卸し  
9月15日 藤崎宮例大祭 本祭  
9月29日 藤崎宮例大祭 全体打ち上げ  
9月30日~10月1日 熊本高校文化祭参加  
10月22日 英国イートンカレッジ聖歌隊熊本公演運営  
11月3日 100周年大同窓会  
11月24日 忘年会  
平成13年3月1日 青年江原会会報配布  
3月19日 ディスカバー士君子事業「シンポジウム」  
3月24日 平成12年度通常総会  
(本年より通常総会を年度末に開催)  
\*この間に11回の学年幹事会を開催

### 学校法人 熊本予備校

平成13年度 大学受験科  
入学・入寮 願書受付中

特待生試験  
3月7日・12日・16日・19日(以後も数回あり)  
設置コース  
国文特A 国理特A 私文特A  
国文選抜 国理選抜 熊文選抜  
熊理選抜 私文選抜 私理選抜  
国文一般 国理一般 私文一般  
私理一般 医療看護

体験クマヨビ 無料 要電話予約  
日程:3月15日・19日・24日・30日・4月2日  
教科:国語 英語 数学 化学  
対象:高卒生  
詳細はパンフレットをご請求下さい。

世安校舎  
フリーダイヤル 0120-592548  
〒860-0823 TEL325-3755  
熊本市世安町393-2

役員		学年幹事									
会長	高木宏一郎	56会	55会	54会	53会	52会	51会	50会	49会	48会	53会
副会長	田中隆臣	56会	55会	54会	53会	52会	51会	50会	49会	48会	53会
副会長	山川摩利子	56会	55会	54会	53会	52会	51会	50会	49会	48会	53会
事務局長	河野成美	56会	55会	54会	53会	52会	51会	50会	49会	48会	53会
会計監査	長生修	56会	55会	54会	53会	52会	51会	50会	49会	48会	53会

### KOKEIJUKU 壺溪塾

受付中  
本科 大学受験科<奨学生試験あり>  
高1・高2・高3コース  
公務員専攻科(初級・上級コース)

体験壺溪塾 無料  
高卒生  
教科:英語 数学 国語 小論文  
日程:3/19・23・26・27・28  
申し込み方法:電話予約 TEL.352-1442

春季ゼミナール 無料  
ジャンプコース  
新高3生  
教科:英語 数学 国語 小論文  
日程:3/24・25・27・28  
申し込み方法:電話予約 TEL.352-1442

英ゼミ  
新高1・高2生  
教科:英語 数学  
日程:3/30  
申し込み方法:電話予約 TEL.312-1472(英ゼミ)  
TEL.352-1442(壺溪塾)

詳しくはパンフレットをご請求下さい。  
フリーダイヤル 0120-518-509  
コケイハ ゴーカウ  
PREP SCHOOL 大学予備校  
kokeijuku 壺溪塾  
熊本市・内環井町5-10 〒860-0077 Phone096-352-1442